

平成30年10月定例教育委員会会議

- 開催日時 平成30年10月26日(金) 午後1時30分～午後2時9分
- 開催場所 鹿嶋市役所 3階 会議室302
- 出席委員 教育長 川村 等
教育長職務代理者 岡見 文彦
委 員 原 キミ
委 員 大槻 啓子
委 員 大崎 千帆
- 欠席委員 委 員 信樂 哲
- 事務局出席者 教育委員会事務局部長 浅野 正
教育委員会事務局次長 大須賀 規幸
教育委員会事務局次長兼国体推進担当参事 佐藤 由起子
教育委員会事務局参事兼教育総務課長 大沢 英樹
鹿嶋っ子育成課長 鈴木 欽章
教育指導担当参事兼教育指導課長 山口 久弥
教育センター所長 小室 富保
社会教育課長 浅野 敏勝
スポーツ推進課長 飯塚 俊行
国体推進室長 山口 和範
中央公民館長 東峰 由美子
学校給食センター所長 津島 応紀
教育総務課課長補佐 久保 美由紀
教育総務課主事 石毛 千遥

○ 議 事

1 協議・報告事項

公 開 ・平成30年度教育懇談会について

(教育総務課)

2 その他

○ 会議録

1 開 会

教育長から開会が宣言された。

2 議事録署名人の指名

大崎 千帆委員が指名された。

3 協議・報告事項

・平成30年度教育懇談会について

(教育総務課)

教育懇談会の開催要項について説明するもの。

【主な質疑・意見等】

(委 員)

対話形式ということで、年に1度の懇談会を楽しみにしている市民の方もいらっしゃるので、できる限り対話的に実施していかれたらと思う。

(委 員)

懇談テーマ2の①から③まで、それぞれについて、時間を配分して懇談をすることになるか。

(教育総務課)

事務局から、一括して説明後、対話をする流れとなる。

(教育長)

事務局からは、誰が参加する予定か。

(教育総務課)

事務局部長、両次長、教育総務課及び懇談テーマについて担当する、スポーツ推進課と教育指導課の職員となる。

4 その他

・教育かしま臨時号の発行について

【主な質疑・意見等】

(委 員)

教育かしまの中に、全国学力・学習状況調査の結果についての概要が記載されているが、補足する部分はあるか。また、今日の新聞で、全国のいじめ調査の結果について掲載されており、小学校の件数がかなり増えたということだった。鹿嶋市の現在の状況を教えてほしい。

(委 員)

先ごろ、中学生が祖父母を殺傷する事件があった。その子どもが、学校に許せない友だちがいて、その子を殺そうと思ったが、家族に迷惑がかかると思って、その前に家族を殺すことにしたと陳述しているとニュースで報道されていた。調べを進めると、どうも学校でいじめに

あっていたようだということで、陰湿で執拗ないじめを受けていて、その子は、ある意味、キレてしまったのではないかということだった。先生方は、日頃ご多忙を極めてらっしゃって、そこまでお願いするのは、大変申し訳ないが、日頃からいじめの芽を摘むということに対して、先生方が細やかに目を行き届かせないと、見落としてしまうと思う。教育委員会としても、学校現場への指導をきちっとしていただきたいと思う。

(教育指導課)

一点目の全国学力・学習状況調査の結果について、本市の現状は、ここ3年程、ほぼ全国平均を上回っている。本年度については、まず、小学校において、国語Aは全国、茨城県の平均を上回り、国語A、Bについては、力を発揮できたと言える。算数A、Bについて、茨城県は今年度、全国の中でも非常に力を発揮できた。本市では、半数近くの学校が、県を上回っており、半数の学校が県を下回った。平均すると、ほぼ、全国を上回っているという結果となったが、茨城県を超えるまでは、もう少しというところであった。小学校によっては、ほとんど全ての調査教科において、国も県も上回っているところもあるが、平均すると先述のとおりであった。中学校においては、今年、非常に力を発揮することができた。国語のA、B、それから、理科では、全国を大きく上回り、茨城県も超えている。ただ、数学についてはA、Bともほぼ、全国並みということで、茨城県ともほぼ、同じくらいの学力であった。市内5つの中学校で、中には全てにおいて、大きく上回っているという学校もあるが、延べにすると、このような結果となった。

二点目のいじめについては、各小中学校から毎月、認知件数の報告をいただいている。9月までの様子は、小学校で247件、中学校で10件の認知があった。対応としては、最短でも3か月間は、継続して観察し、その間に本人、そして保護者の様子や意見等から、解消したと判断できるようになるまで継続して観察している。ただ、1対1のいじめがあった場合、その場、または早い段階で、「ごめんね。」というように、ほとんどの事例で、和解解決ができています。そのような事例でも3か月は継続して観察している。認知の件数は増加傾向にあり、平成29年度のデータでは、平成28年度に認知件数が全国1位だった、京都府を飛びぬけて超えているような件数だった。つまり、日常の学校生活の中で先生方がいじめに非常に敏感に対応しているということがうかがえる。そして、早期に発見して、解決していこうという動きが、すべての小中学校に行きわたっていると考えている。教育委員会としては、年に3回研修会を開き、小中学校の生徒指導主事を集めて、認知とはどういうことか、早期発見、解決にはどのようなことが必要か、研修をもって各学校に周知するよう努めているところ。

- (教育長) 鹿嶋市では、重大事案になる前に芽を摘んでいて、重大事案の発生はないということによろしいか。
- (教育指導課) 重大事案、つまり命に係わることや学校に行かなくなってしまったというような事案は発生していない。そうなる前に、早期解決ということで進めている。
- (委員) 鹿嶋市では教育センターがあったり、県の事業であるスクールカウンセラーが配置されていたり、担任だけでなく、学校全体、また、学校だけでなく、外部の力が整っているのも、とても恵まれていると感じている。引き続き、お願いしたい。
- (委員) 学力調査について、昨年も、算数に課題があったと記憶している。今年は全国平均ということで、さらに算数の学力を向上させるために、鹿嶋市として、何か具体的な方策を考えているか。
- (教育指導課) 算数に限らず、学力向上には教員の授業力の向上。つまり、授業を上手に進めることができなければ、子ども達に力を付けさせることができないということで、市の教育委員会では授業力向上のために、授業改善プロジェクトを5年かけて進めているところ。算数については、昨年、鹿島小学校で、県指定の授業力ブラッシュアップ研修重点校として、研修を1年間かけて行った。また、本年度から来年度にかけては、三笠小学校が指定され、2年間継続して研究を重ねていただいているところである。鹿嶋市内の小中学校では、指定された研究で、挙げた成果を授業公開を通して、各小中学校に戻していただいて、授業力向上につなげていきたいと考えている。
- (委員) 子ども達に興味を持たせて、算数好きにするために、何か、いい方法はないかと思う。
- (教育長) 鹿嶋市が取り組んできた、授業改善プロジェクトは、課題解決学習のようなもので、解決していく楽しみなどを、授業の中で子ども達を感じることができるように進めている。算数、数学で難しいものを自分たちが解いていく喜びが子ども達に伝われば、興味や関心を持つきっかけになると思う。
- (委員) これからA Iの時代なので、将来、生き抜いていくためには、算数の力が非常に大事だと感じる。早い段階から、子ども達の算数に対する苦手意識を取り払ってあげて、楽しく学習できて、算数ができること、こんなことができるんだとか、こういう時に役に立つんだとか、分かってもらえたらと思う。
- (事務局部長) 調査の結果をそれぞれの学校で受け止めて、今後、どう子供たちを育てていくかということを考える一つの資料になるので、結果を基に、検討していければと思う。
- (委員) 話が前後してしまうが、先程のいじめの問題について、今現在、いじめが問題で、不登校になっている児童生徒はいないということか。

(教育指導課) まず、9月現在の不登校の児童生徒数で、県に報告している人数は、小学校が17名、中学校が40名、計57名いる。この不登校となっている、明確な理由を特定するのは難しいが、今、無気力や不安感を抱いている児童生徒が多い傾向にある。中にはゲーム依存といった子たちもいるが、いじめが原因で不登校となっているという報告は受けていない。これがいじめになってくると、重大事案ということで、教育委員会でも調べを進めることになるが、今のところは、そういった事案は発生していない。

(教育センター) 教育センターでもいくつかの事例を扱っているが、中学生になると行きたくない理由として、「いじめ」だということを訴えるが、学校と親と子どもの話をそれぞれによく聞いていくと、親子・家族関係に問題があることが多い。それが言えないがために、学校生活のせいにするという傾向も見られる。子どもが、事実をきちんと伝えてくれるようになるまでには、信頼関係を築く必要があり、時間がかかる。

たとえば、衛生面などで本人に原因があるような場合は、周りの子たちは必然的に避ける傾向があるが、そうすると、無視されたと本人は思う。実に様々な理由があるので、きちんと確かめていく作業をしないとにならないが、保護者も学校の先生も、子どもから「いじめられた」と話を聞くと、すぐに誰がやったのかと、相手を探すことに気がいきがちである。違った意味で非常に問題が大きくなってしまう場合もあるので、教育センターも間に入り、緊急を要する事案かそうでないかをしっかり見極めながら丁寧な対応をしているところである。

(委員) ゲーム依存の話が出たが、きちんと約束事をしないで、親が子供に買い与えたために、依存してしまうのではないかという話を聞いたことがある。ゲーム依存の状況が分かれば教えていただきたい。

(教育指導課) すべて把握はしていないが、昼夜逆転してしまっているケースが多い。これはインターネットであったり、ゲーム機であったりということで、中学1、2年生辺りが件数としては多くみられる。やはり家庭の協力を求めているかなければならないが、なかなか改善に至っていないのが現状。

・第54回全国社会人サッカー選手権大会（国体リハーサル大会）の開催報告について

【主な質疑・意見等】

特になし

・大野区域屋内温水プールの指定管理者について

【主な質疑・意見等】

(教育長) 工事の進捗状況はどうか。

(教育総務課) 来年4月のオープンということで、現在、工事を進めている。当初、

工期を1月いっぱいということで予定していたが、コンクリート等の関係で遅れる可能性がある。ただ、4月のオープンに間に合うように現在進めている。

- ・鹿嶋市教育委員会関係日程について

6 閉 会

教育長から閉会が宣言された。